

平成18年度財団法人埼玉県体育協会
第1回評議員会議事録

日 時：平成18年5月30日（火） 午後2時00分より

会 場：財団法人埼玉県自治会館4階ホール

出席者：44名 委任者：38名 理事陪席：21名 陪 席：2名 事務局務局：5名

定足数の確認

○評議員94名のうち出席44名・委任38名合計82名、寄付行為第25条第2項により評議員成立を報告。

あいさつ 坂本会長

先般、関東体育協会連絡会議に出席してきました。各都道府県とも課題を抱えており、国民体育大会におけるふるさと選手制度やドーピング検査の問題、厳しい財政状況をどう乗り越えていくか。さらには、生涯スポーツの振興のために何をすべきかといったことなどの情報交換を行った。本会としても、常に国民体育大会で天皇杯第3位以内を目指しているが、スポーツ王国埼玉を更に発展させるためには、大変な努力が必要であり、生涯スポーツの振興のためには、総合型地域スポーツクラブの育成が必要不可欠であり、市町村にどのように普及させえていくかも大きな課題である。市町村体育協会には本会キャッチフレーズ「まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役」の横断幕を配布させていただきました。これを合言葉に県民スポーツの振興を一緒に図って行きたい。是非、ご活用ください。

あいさつ 廣川スポーツ振興課長

今年度、教育局再編により昨年まであった体育課が55年の幕を閉じ、競技力向上事業や生涯スポーツの振興並びに各種団体の育成などスポーツ振興課が担当させていただいている、今後ともよろしく願いいたします。体育・スポーツは常に県民の関心や期待が高く、さらに、大規模大会が開催される年はより一層高まっております。いよいよ本県を主会場とする全国高等学校総合体育大会が再来年開催されます。来年、本県で開催される国民体育大会行関東ブロック大会と併せて皆様のご指導・ご協力を賜りたい。スポーツを取り巻く環境は多くの課題を抱えてはいるが、関係諸団体と協力・連携を図り、坂本会長も言われた「まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役」のとおり多くの県民が参加できる環境づくりに努めていきたい。

役員紹介

○議長は寄付行為25条により坂本会長。

第1号議案 理事の変更について

- 桐生貞雄副会長（理事）及び高橋誠理事から辞任届けが提出された。理由は県教育委員会定期人事異動による。ついては、後任者の埼玉県立浦和高等学校校長で埼玉県学校体育協会会長の前島富雄氏並びに埼玉県教育局県立学校部保健体育課学校体育担当指導主事で埼玉県学校体育協会理事長の柳川典昭氏に就任いただきたい。なお、前島富雄氏については、副会長も併せて務めていただきたい。
- ただ今の説明についてご質問等がありましたら挙手をもってお願いしたい。
- 異議なし。
- 第1号議案について原案のとおり承認いただけますか。
- 承認。

第2号議案 平成17年度事業報告について

- 平成17年度事業報告及び決算については関連があるので一括報告願いたい。
- 平成17年度財団法人埼玉県体育協会事業報告については、「基本方針、第59回国民体育大会で培った選手育成のノウハウを活かし、さらなる競技力向上を図り世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成する。県民が健康で活力ある生活を築くため、さらなる県民スポーツの振興を図り、生涯スポーツ社会の実現を目指す。」とした。スポーツ振興事業では、総合型地域スポーツクラブの育成推進を図るため、埼玉県教育委員会及び埼玉県広域スポーツセンター（通称：ふあいぶる）と連携し取り組んだ。地域スポーツクラブ育成委員会を本会の中に設置し、委員会を3回開催。クラブ育成アドバイザーを本会事務局内に2名配置し、県内のクラブ育成を図った。その、クラブマネージャー研修会や先進クラブ視察を実施した。平成17年度は、平成16年度からの継続8クラブ・新規13クラブが育成の指定を受けた。生涯スポーツ地域振興助成事業では、2の市町村体育協会及そこに加盟するスポーツ団体が広域地区のスポーツ文化や地域文化の発展のために実施する場合100,000円を補助。公認スポーツ指導者養成事業につきましては、バレーボール・バスケットボール・空手道・ゲートボールの4競技87名を養成した。平成17年度末の埼玉県登録の公認スポーツ指導者は5373名。スポーツ指導者資質の向上のために研修会を開催。平成17年度18回県民総合体育大会は、競技部門・コミュニティー部門・レクリエーション部門・スポーツフェスティバルを開催した。埼玉駅伝競走大会は歴史ある大会で、平成18年1月21日に開催した。スポーツ活動の支援事業の充実では、免税募金活動を広げ、総合型地域スポーツクラブ育成支援事業の育成指定クラブや加盟競技団体に活用した。加盟競技団体運営補助事業では、加盟競技団体一律1団体150,000円、郡市体育協会人口一人当たり1.5円及び一律40,000円の運営費を交付した。財団法人埼玉県体育協会創立80周年記念誌「体育史第四巻」の発刊を行った。現在最終構成と製本を行っている。競技力向上事業につきましては、前年に行われた「彩の国まごころ国体」の真価が問われる年だった。第60回国民体育大会は天皇杯第3位・皇后杯第5位を獲得した。本会は、第59回国民体育大会埼玉県競技力向上対策本部の強化事業の移行を受け、精査して彩の国アスリート育成強化事業・スポーツ環境整備事業・支援スタッフサポート事業・競技団体指定クラブ強化事業・ジュニア育成補助事業を新規事

業として実施した。この他、埼玉県の指導者の資質の向上を図るため、指導者養成・資質向上事業や埼玉県強化コーチ研修会兼国民体育大会必勝対策会議を実施した。競技団体長・支援企業等協議会を実施。スポーツ少年団事業では、軟式野球・サッカー・バスケットボール・バレーボール・剣道・複合・ソフトボール・空手道・柔道・バドミントン・ソフトテニス・駅伝の12の種目別大会及び野外活動を中心とした第38回埼玉県スポーツ少年団大会を開催した。第31回日独同時交流事業の派遣および受入事業につきましては、行田市において7月24日～8月3日の10泊11日間の心のこもった受け入れをしていただいた。また、競技別交流大会・研修会等多くの事業を展開した。平成17年度スポーツ少年団登録状況については、埼玉県日本一を誇り、指導者17,583名・団員62,955名・団数1,812団。指導者数・団員数については全国一を誇っている。スポーツ科学研究事業については、彩の国まごころ国体の前年からドーピング検査が実施され、それに伴いアンチ・ドーピング教育啓発事業を実施し引き続き行っており、コーチ研修会、全国高校総体結団式、国体夏季・秋季大会の選考会議や結団式で実施した。国体選手の健康管理事業、国民体育大会において帯同ドクターの派遣、各種研修会等を実施した。免税募金活動の充実では、本会の自己財源の確保するために、財団法人日本体育協会の免税募金制度を利用し、15件1,860,000円の免税募金をいただいた。スポーツ振興くじ助成事業の推進では、平成17年度は都道府県体育協会に対する助成事業の募集は無かった。広報・普及活動事業では、「スポーツ埼玉」誌の発刊、ホームページの充実を図り、キャッチフレーズの活用では、啓発用クリアフォルダー及びキャッチフレーズの横断幕を作成し、県民の多くの方にスポーツが親しめるように努めた。顕彰事業では、平成18年3月12日に埼玉会館大ホールにおいて埼玉県体育賞を実施し、受賞者総数44団体459名、個人140名が受賞した。財団法人埼玉県体育協会体育優良児童生徒表彰については、県内全ての学校にご案内申し上げ、昨年度は男子907名・女子858名1765名の表彰を行った。第60回国民体育大会表彰式では、優秀な成績を収めた競技団体並びに選手の表彰をおこなった。この他、文部科学大臣生涯スポーツ功労者表彰、国民体育大会功労賞特別表彰、日本スポーツ少年団顕彰、埼玉県スポーツ少年団表彰を行った。諸会議では、理事会4回、評議員会2回、郡市町村連絡会議を東西南北に分けて各1回。専門員会については、総務委員会、広報委員会、普及委員会、強化対策委員会、スポーツ少年団、スポーツ科学委員会を開催した。最後に、免税募金にご協力いただいた方々のご芳名を記載させていただいた。一般寄付の西武ライオンズ選手会は、平16年度に引き続き、日ごろ選手が愛用しているスポーツグッズ等のオークションで集まった売上金を埼玉県のスポーツの振興に役立てて欲しいと頂戴したものである。ちなみに、平成17年度のご寄付いただいた額は1,836,514円。

第3号議案 平成17年度決算について

○平成17年度決算説明にあたり、はじめに決算方針を説明いたします。3月に行われた理事会・評議員会では、平成18年度予算については、新公益法人会計基準に則った形式で作成しご承認いただいたが、平成17年度決算につきましては、旧公益法人会計基準に基づき平成17年度の予算編成をした関係上、平成17年度決算につま

しては、従来どおりの形式で作成しております。一般会計については、郡市体育協会人口一人当たり1円・スポーツ団体一律50,000円・学校体育協会398,000円・スポーツ安全協会埼玉県支部から1,200,000円。負担金10,768,000円。県費補助金89,289,825円。日本体育協会補助金3,635,200円。寄付金として西武ライオンズ選手会から1,836,514円。一般会計収入合計138,091,999円。支出の部については、ほぼ予定通りの執行をし、加盟団体への補助金交付も行った。当期支出合計は109,753,752円。次期繰越収支差額28,338,247円。競技力向上事業特別会計については、その多くを県費補助金で補助金額130,450,000円。収入合計132,387,062円。支出については、強化費・育成費・国際競技派遣費で、ほぼ予定通り執行した。当期支出合計131,123,345円。次期繰越収支差額1,263,717円。スポーツ少年団特別会計については、県費補助金15,000,000円。日体協補助金7,625,820円。登録金17,960,900円。参加料4,590,000円。収入合計50,330,559円。支出についてはほぼ予定とおり。当期支出合計46,543,092円。次期繰越収支差額3,786,657円。事業部特別会計については、大宮公園にある飛行塔の収益の15%が収入となり、昨年度の入場料収入は、約12,500,000円の15%の1,875,105円。収入合計2,146,897円。支出については、土地使用料・保険料・及び一般会計繰入金支出1,500,000円。当期支出合計1,703,780円。次期繰越収支差額443,117円。学校体育団体等補助事業特別会計は全て県費で、21,180,000円。支出については、学校体育団体等補助金2,600,000円で、学校体育協会1,550,000円、小学校体育連盟650,000円、女子体育連盟400,000円。高等学校体育連盟補助金8,125,000円。中学校体育連盟補助金5,570,000円。県体育指導委員協議会補助金900,000円。県レクリエーション協会補助金3,985,000円。当期支出合計21,180,000円。免税募金特別会計については、免税募金収入1,860,000円。雑収入には免税取扱外が含まれる。当期収入合計6,208,896円。支出については、スポーツ振興事業の他、日本体育協会事務手数料として免税取扱額の3%。一般会計繰入金支出に1,348,300円。当期支出合計1,558,780円。次期繰越収支差額4,650,116円。スポーツ振興くじ助成事業特別会計は、平成17年度の都道府県体育協会への助成が行われなかった。退職給与積立金につきましては、平成17年度に5,000,000円積立し、利息が16,659円。平成17年度積立総額60,587,393円。器材改装等積立金は、平成17年度に500,000円積立し、利息が54,942円。平成17年度積立総額85,927,454円。協賛金積立金については、平成17年度500,000円積立し、利息が2,428円。平成17年度積立総額10,938,179円。収支計算書総括表は各会計の科目を一括で表している。正味財産増減計算書については、増加の部6,800,532円、減少の部8,747,637円。期末正味財産合計額67,802,948円。貸借対照表については平成18年3月31日現在、資産合計230,222,486円、負債合計162,419,538円、正味財産67,802,948円。財産目録については、普通預金を主な内容とする流動資産。貸付・金銭信託、定期預金による基本財産の固定資産。その他、その他の固定資産。什器備品は、大宮公園内にある飛行塔、事務局内にある事務用品、県立スポーツ研修センターに設置してある体力測定のための器材、血圧監視装置やパワーマックスなどがある。事務用備品内訳書についてはご覧のとおりです。

監査報告

- 平成18年5月17日 埼玉県自治会館内において平成17年度財団法人埼玉県体育協会歳入・歳出決算について、会計諸帳簿・証拠書類及び預金通帳等の関係諸帳簿と照合監査した結果、一般会計、特別会計、貸借対照表ともそれぞれ相違なく、かつ適正に執行されていることを確認した。
- 第2号議案・第3号議案についてご質問等がございましたら挙手をもってお願いいたします。ないようですので原案のとおりご承認いただけますか。
- 承認。

第4号議案 平成18年度予算の一部補正について

- ただ今の決算の承認により、平成17年度の繰越金が確定したので、平成18年度の予算の一部を補正したい。一般会計では、前期繰越収支差額の当初予算に16,838,247円補正増し、28,338,247円とし、支出については、増えた額を予備費に16,838,247円補正増し、18,591,047円。予算総額125,797,247円。平成18年度から、競技力向上特別会計とスポーツ少年団特別会計、一般会計の事業部門を一体化して、スポーツ振興特別会計としたので、前期繰越収支差額に競技力向上会計分から336,283円補正減、スポーツ少年団特別会計から1,334,997円補正増し、合計5,050,374円。支出については、選手強化事業費支出を99,398,750円、選手育成費支出を45,891,300円、予備費の競技力向上事業分が1,263,717円、スポーツ少年団分が2,054,997円。予算総額238,820,424円。事業部特別会計では、前期繰越収支差額に173,117円補正増し443,117円。支出については、予備費に同額補正増し382,117円。予算総額2,454,117円。免税募金特別会計は、前期繰越収支差額に601,154円補正増し、4,650,116円。支出については、予備費に同額補正し、4,650,216円。予算総額6,650,216円
- 第4号議案について原案のとおりご承認いただけますか。
- 承認。

その他（平成20年度全国高等学校総合体育大会）

- 平成20年の夏に埼玉県において全国総合体育大会通称インターハイが開催されます。全国総合体育大会は、全国各地で開催されていた大会を昭和38年に総合して開催され、各県持ち回りで開催されている。全国総合体育大会は、高校スポーツ最大の祭典で、全国から集う高校生と開催準備を通してかかわる地元高校生の健全育成にも寄与している大会です。平成20年7月28日の午前中に総合開会式を行い、翌日から競技会が開催され、20日前後まで続く、県内の会場は29市町で、そのうち28市町が彩の国まごころ国体の会場地。但し、ヨット競技については、渇水対策のため渡良瀬遊水地の水位が低いので、東京都で開催する。平成21年度が奈良県・22年度が沖縄県で一巡する。県内の中学生・高校生に公募し、スローガンを募集し決定したところで、現在スローガンの毛筆体を公募している。来年3月頃には公式ポスターが出来あがる予定。総合開会式については、さいたまスーパーアリーナで開会式を開催するので、詳細が決まり次第ご案内いたします。業務推進状況ですが、今年度中に競技会

場・練習会場が決定するので、関係各機関と調整のうえ発表する。一人一役運動についてご説明いたします。大会の運営や競技会の運會に、県内の高校の教員・生徒全てで取り組むもので、先催県から代々受け継がれている取り組みで、埼玉県においても高校生の一人一人が何らかの役割を担う。県高体連と校長協会が中心となって取り組む。今年度入学した生徒が3年生となるので、年末ごろに組織を立ち上げたい。

○ただ今のご説明について何かご質問とうございますか。ないようですので以上をもちまして平成18年度第1回評議員会を終了いたします。

以上全議事を終了し15時01分閉会